

平成22年3月期
第2四半期決算説明資料

平成21年12月21日
株式会社セレスポ

平成21年9月
第2四半期決算概要

平成21年9月 第2四半期(累計)の総括

- 売上に関しては、厳しい経済状況の影響や新型インフルエンザ感染拡大防止によるイベント中止等により、3,659百万円(対前年同期比9.9%減)となりました。
- 利益に関しては、材料費等の経費削減に努めたものの、減収の影響により、経常損失は67百万円(前年同期の経常利益は25百万円)、純損失は51百万円(前年同期の純利益は、20百万円)となりました。

平成21年9月第2四半期 貸借対照表 (資産の部)

単位:百万円

科目	今期	前期	前期比	備考
流動資産	2,105	2,023	104%	
固定資産	4,703	4,842	97%	
有形固定資産	3,855	3,905	99%	
無形固定資産	69	32	215%	
投資その他の資産	777	904	86%	
資産合計	6,808	6,866	99%	

平成21年9月第2四半期 貸借対照表

(負債・資本の部)

単位:百万円

科目	今期	前期	前期比	備考
流動負債	2,233	2,330	96%	
固定負債	753	637	118%	
負債合計	2,986	2,967	101%	
資本金	1,370	1,370	100%	
資本剰余金	2,155	2,155	100%	
利益剰余金	357	419	85%	
自己株式	▲61	▲61	100%	
その他有価証券評価差額金	0	14	4%	
純資産合計	3,822	3,898	98%	

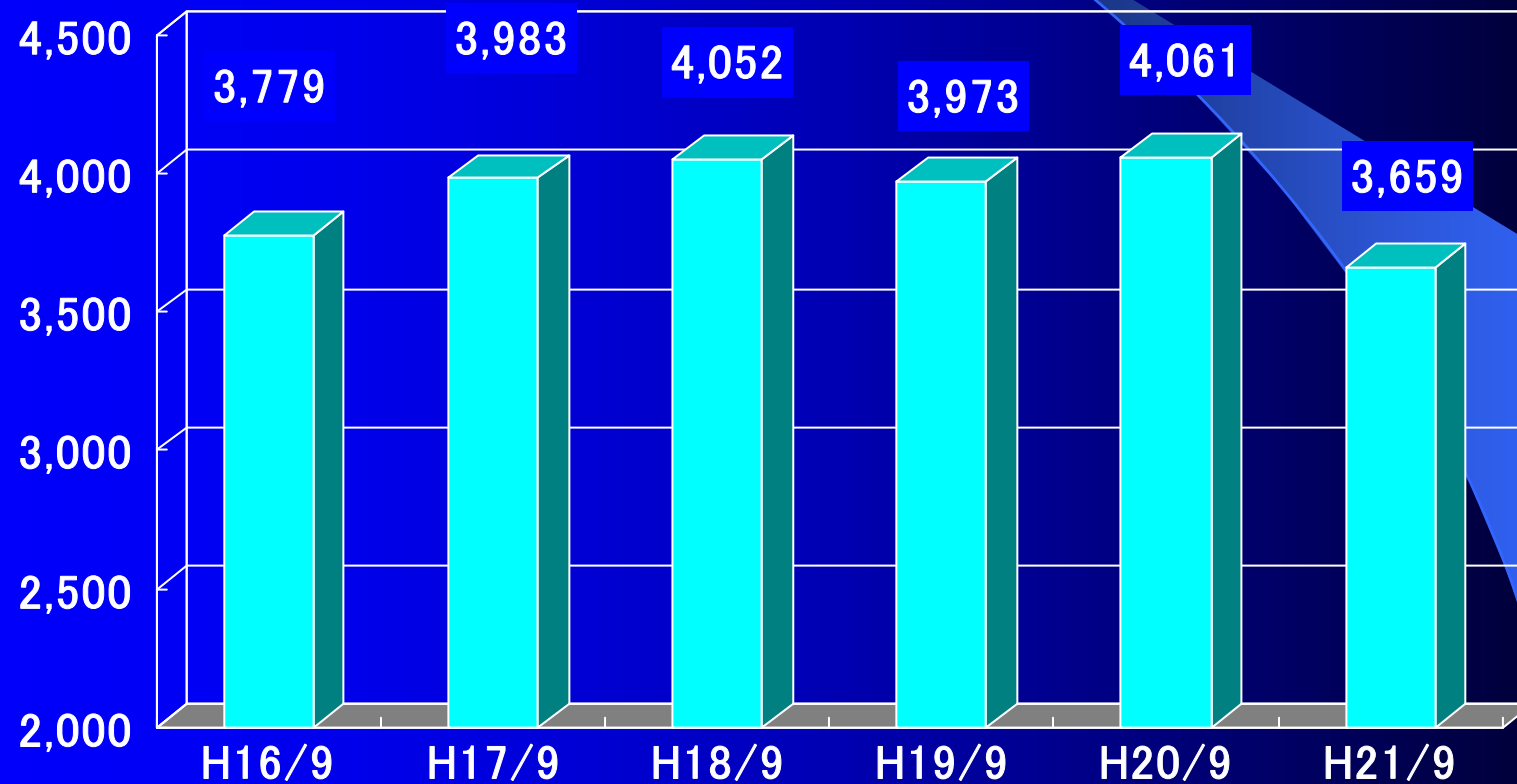
平成21年9月 第2四半期(累計) 損益計算書

単位:百万円

	今期	前期	前期比	備考
売上高	3,659	4,061	90%	
売上総利益	1,072	1,165	92%	
営業利益	▲67	27	—	
経常利益	▲67	25	—	
四半期純利益	▲51	20	—	
1株当り 四半期純利益	▲9円41銭	3円68銭		

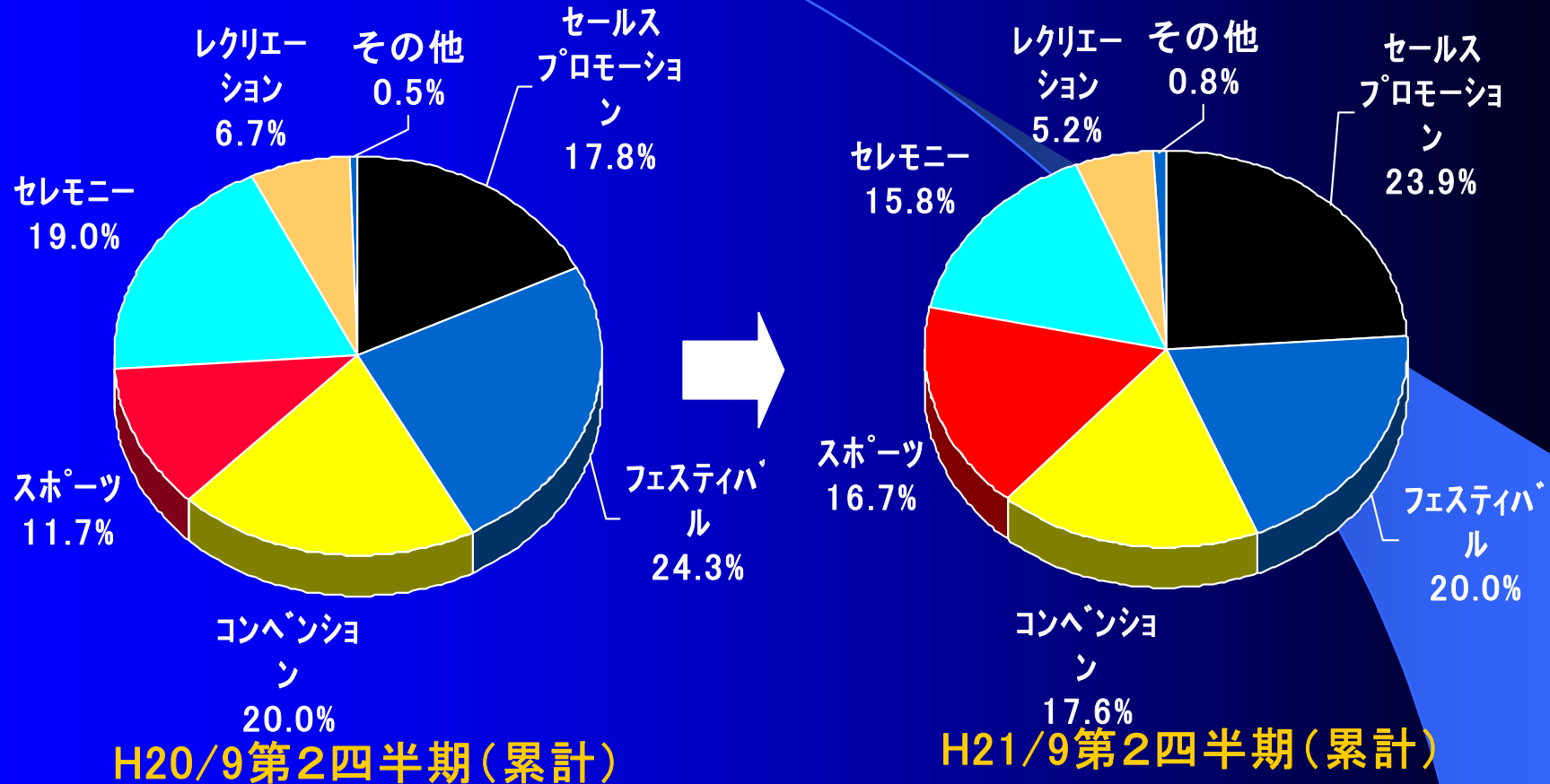
売上の推移

単位:百万円



中間期／第2四半期(累計)

売上構成比の比較



- セールスプロモーションの増(17.8%→23.9%)
- スポーツの増(11.7%→16.7%)
- フェスティバル(24.3%→20.0%), セレモニー(19.0%→15.8%)の減

部門別前期比分析

- セールスプロモーション部門

企業収益回復兆候による増

前年比 +25.6%増

- フェスティバル部門

地域振興イベント、防災訓練等の減少による減

前年比 ▲25.6%減

- コンベンション部門

前年初受注の全国植樹祭に代わる受注なし等による減

前年比 ▲20.7%減

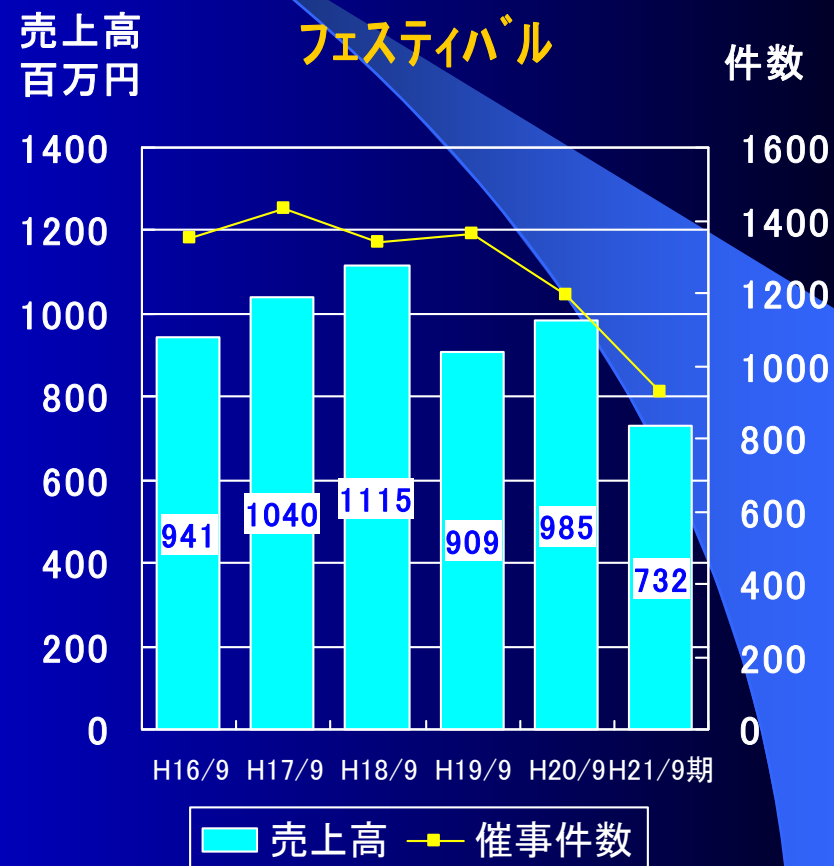
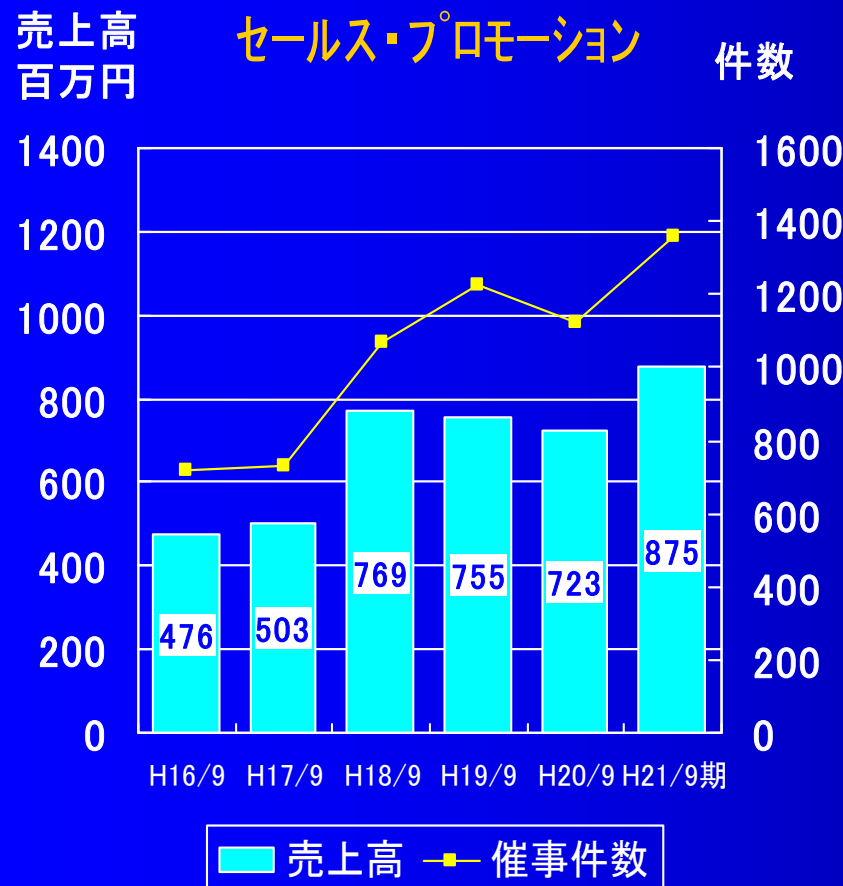
- スポーツ部門

6月日本陸上選手権、9月スーパー陸上受注等による増

前年比 +28.6%増

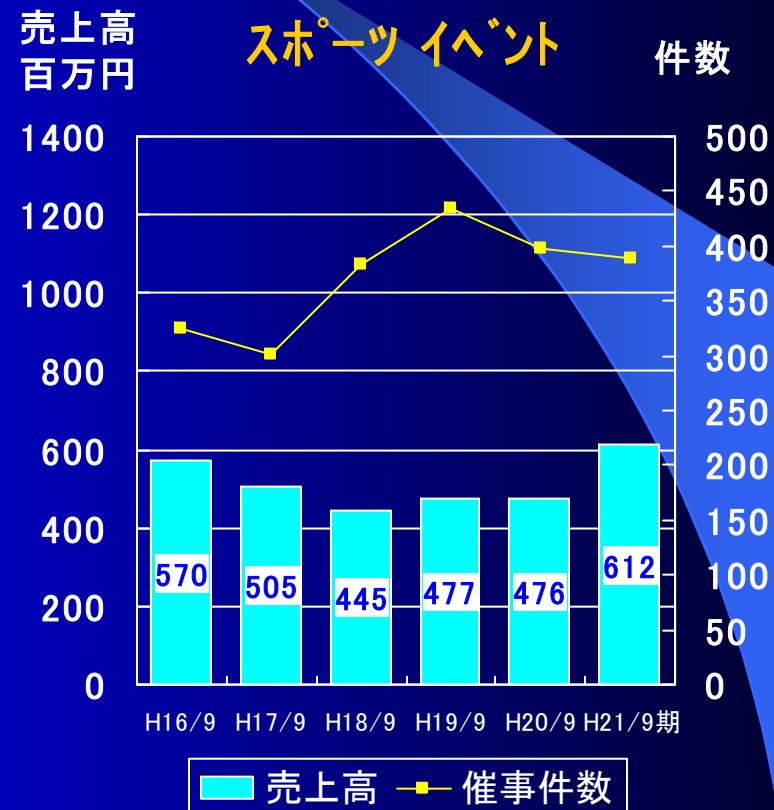
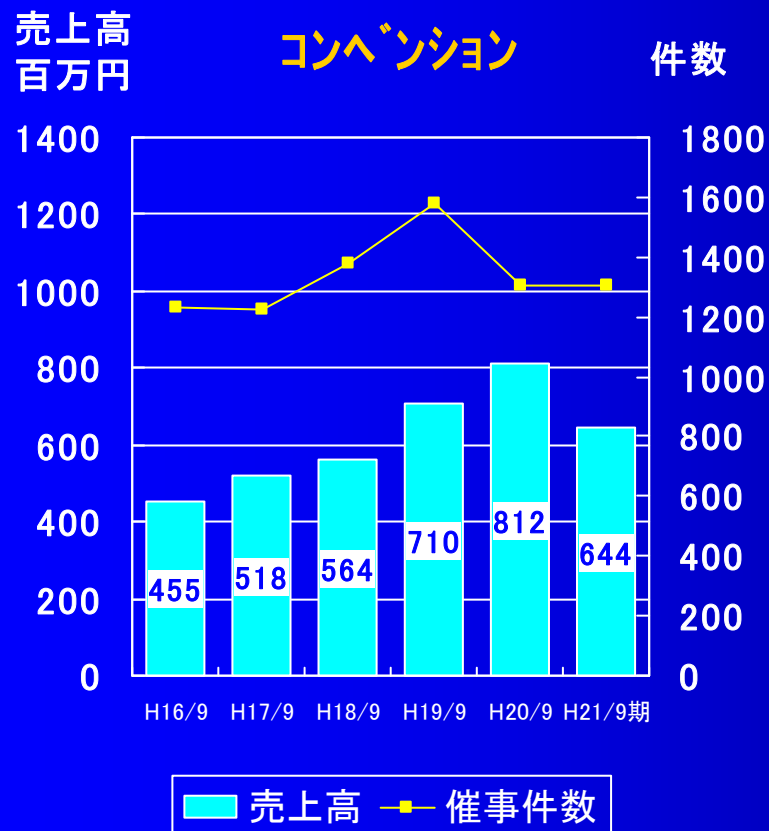
主要部門の売上高推移(1)

— 第2四半期(累計) —



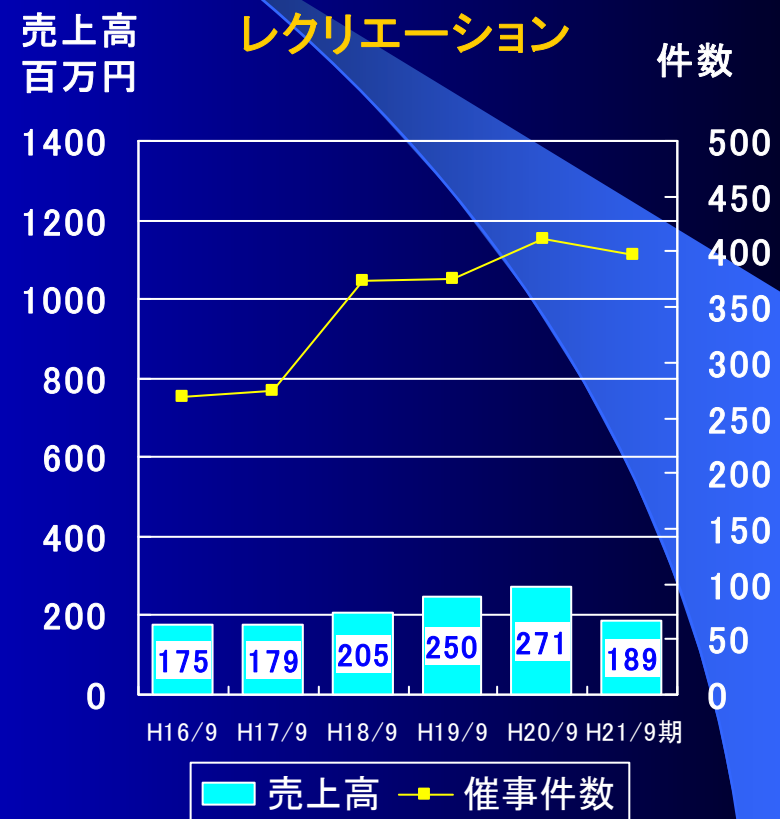
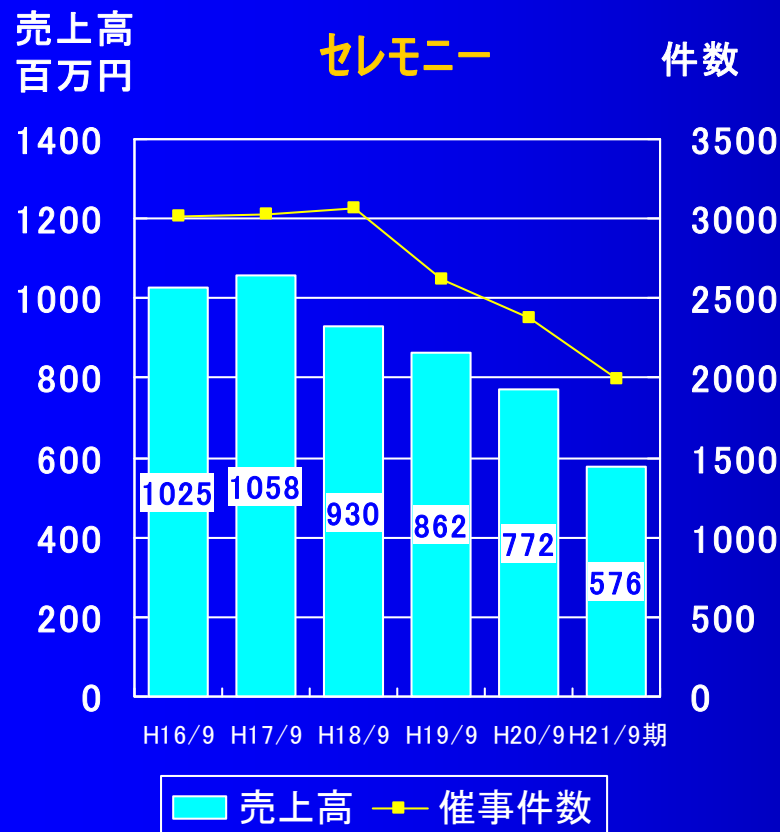
主要部門の売上高推移(2)

— 第2四半期(累計) —



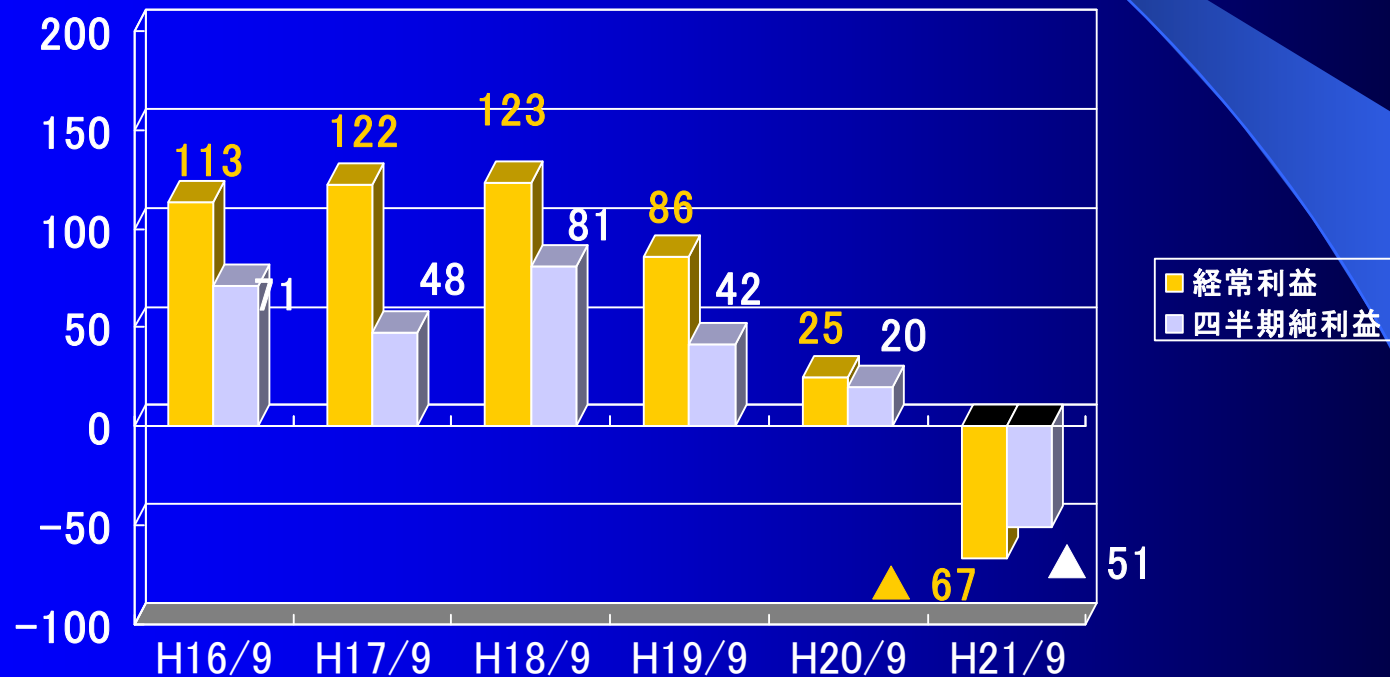
主要部門の売上高推移(3)

— 第2四半期(累計) —



利益の推移 — 第2四半期(累計) —

単位: 百万円



第2四半期(累計)

平成22年3月期 業績予想

平成22年3月期 業績予想

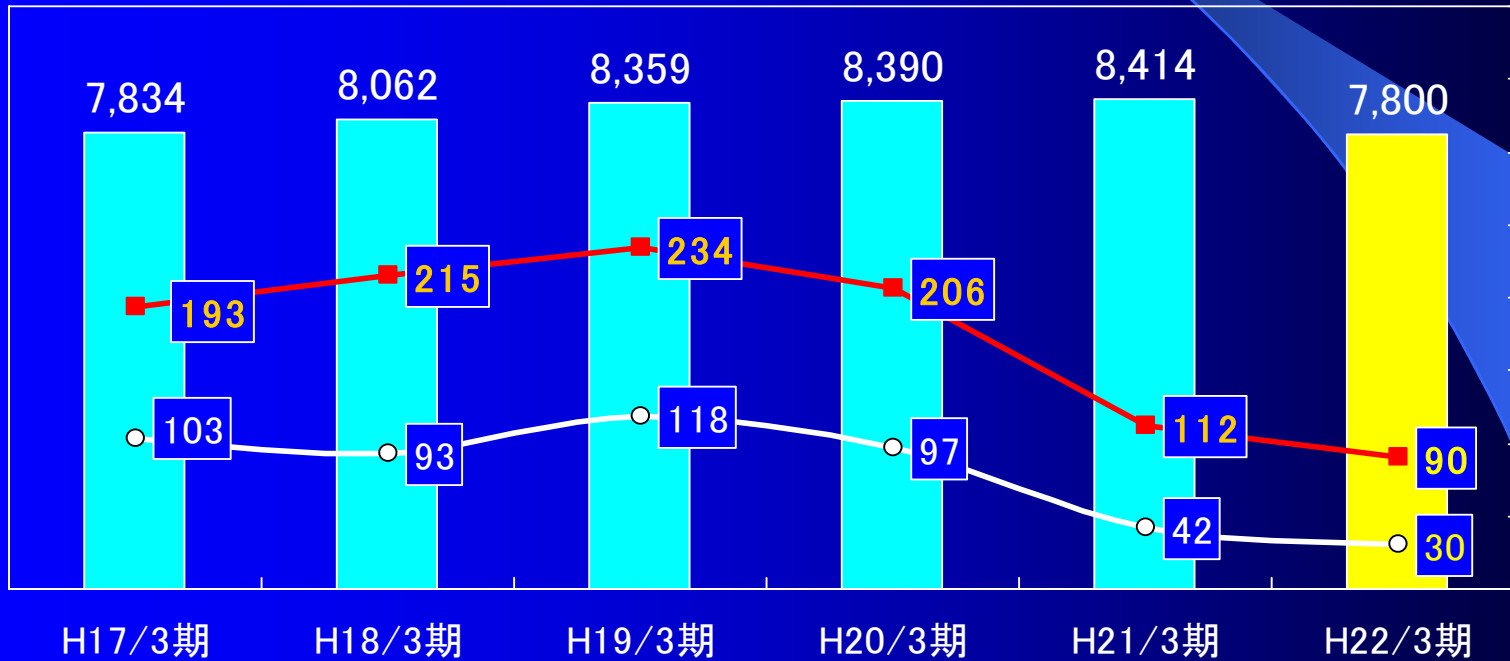
単位：百万円

	当期(予)	前期	前期比	備考
売上高	7,800	8,414	93%	
営業利益	95	113	84%	
経常利益	90	112	80%	
当期純利益	30	42	71%	

売上・利益推移(予想)

売上:百万円

經常利益:百万円
当期純利益:百万円



■ 売上 ■ 經常利益 ● 当期純利益

(予想)

当社の経営方針

当社は、平成20年4月より新体制となったのを機に会社経営の基本に新しい考え方を導入しました。

それは…

当社を取り巻く、株主・顧客・取引先・社員などのステークホルダーとWIN-WINの関係を築くことを、すべての活動の起点にしようというものです。

従来の「集い創りの裏方に徹する事をもって、人間社会の円滑なる発展に貢献する」という経営理念も大切にしていきながら、この新しい考え方を基に、時代に即した対応を行っていくことで、株主・顧客にご満足いただけるような会社となるべく努力して参ります。

中期経営計画(33~35期)の骨子(1)

1. 既存事業改革

①事業領域別戦略

(セールス・プロモーション、セレモニー、スポーツ)

②営業機能、制作機能の強化

③会場設営・運営機能の強化

2. 新規事業への取組み

①新規顧客、新しい事業領域、商品・サービスの開発

②海外マーケットの研究

中期経営計画(33~35期)の骨子(2)

3. 人事制度の刷新

4. ブランディング戦略

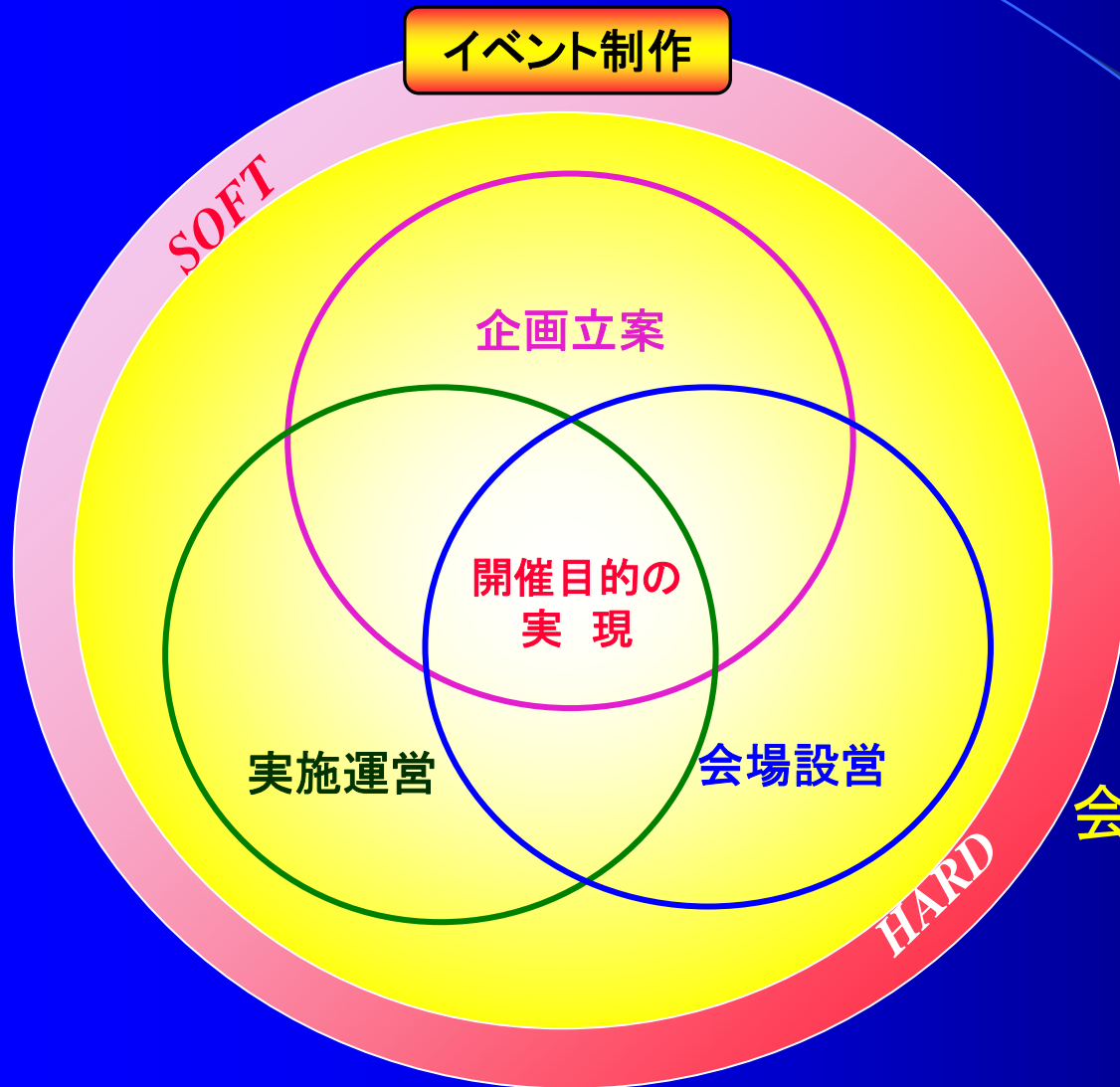
- ①CIを含めた検討、イメージ・コントロール
- ②商品・サービスの質に対する向上施策検討
- ③企業認知度アップへの取組み

5. 企業体質の改善

オープンでフェアな経営管理体制の実現

FAQ1: 当社の事業領域は？

— イベント制作の3要素 —



イベントの開催目的を実現させる機能として、次の3要素が不可欠

- ・企画立案
- ・会場設営
- ・実施運営



当社はイベントの会場設営業からスタートし、企画・運営まで事業領域を拡大（総合受注体制）

FAQ2: 部門の概要は？

当社の部門(ドメイン)は以下の7つに区分されています。

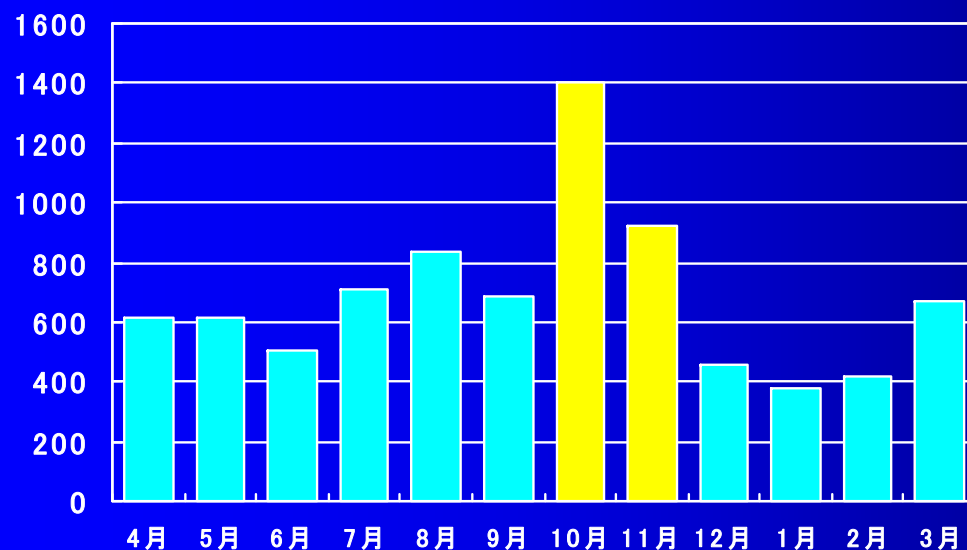
ドメイン	内 容	主要商品
セールス プロモーション	企業が行う販売促進を目的とした催事等	展示会・見本市
フェスティバル ※	主に官公庁が行う地域振興催事等	市民祭・産業祭
コンベンション	団体・企業が行う集会催事等	記念式典・会議
スポーツ イベント	スポーツに関連した催事等	ゴルフ・国体・ インターハイ
セレモニー (建設式典)	建築・土木に伴う式典等	地鎮祭・竣工式
レクリエーション	企業が行う福利厚生を目的とした催事等	運動会・納涼祭
その他	上記以外	

※ 前期までの「イベント部門」を改称

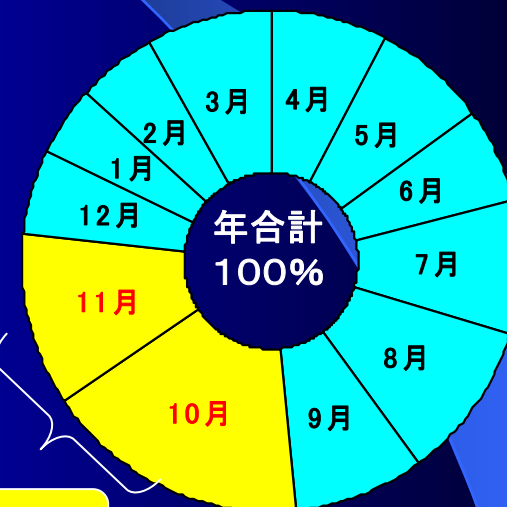
FAQ3: 季節要因は？

百万円

過去5年平均月別売上高



各月売上高比率



約28%

屋外イベント、スポーツ大会が数多く開催される
10月・11月が、当社にとっての繁忙期

FAQ4: やさしい社会のために (1)

- **バリアフリーライフ研究所**

イベント会場のバリアフリー化を目指し、
1999年 業界初のバリアフリーライフ研究所設立

- **クイック24**

震災に備えた緊急避難所設置(要請から24時間以内)
に関する地方自治体との協定
協定先: 45市区町村(平成21年9月時点)

FAQ4: やさしい社会のために (2)

- イベント会場で使用する各種資機材にエコ対応を実施

- ◆ 間伐材の使用

自然保護育成の為に「間伐材」等を積極的に設営資機材等に採用

- ◆ 環境に配慮したゴミ袋の使用

古紙・粉殻を混入することにより燃焼時のCO2発生が大幅に削減できる
ポリ袋を使用

- ◆ エコ素材のテーブルクロスの使用

上記ポリ袋と同じ素材のテーブルクロスを使用

- ◆ リサイクル可能なパイプ椅子の使用

廃棄時は簡単に分解し、スチール・アルミとPP樹脂に分別／リサイクルが可能

- ◆ カーペットのリサイクル

再処理時、RPF(固形燃料)にリサイクルすることによりCO2削減

- ◆ 廃棄資材のリサイクル

当社流通センターでは、壊れた資材の素材成分を分析し、プラスチック素材を中心にRPE(固形燃料)にリサイクル

本資料に関するお問合せ

株式会社セレスポ
総務部

TEL:03(5974)1111

E-mail:ir@cerespo.co.jp